

## 2 研究の実際 &gt; (2) 授業の実際 &gt; ウ

## 活動案 (中学校 1 時目)

◆本時のねらい: グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができるようにする。

◆本時の展開

| 学習活動   | 教師の働き掛け   |
|--|---|
| 1 3時間の学習活動の目標を知る。<br>【5分】<br><br>2 グループを作り、グループ名を考える。<br>【10分】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流活動(4人)</span><br><br>3 本時のめあてを知る。<br>【1分】  | ○3回の授業で、自分や友達の「強み」を見付け、伝え合う活動を通して、自分や友達の「強み」を知る学習をしていくことを伝える。<br>○授業者が自己開示し、話しやすい環境づくりをする。<br><br>○互いに意見を出し合ったり話し合ったりすることにより、親和的な雰囲気づくりをする。   |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【本時のめあて】</span>   | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分や友達の「強み」を知ろう</span>  |
| 4 「強み」(ストレングス)について知る。<br>【5分】<br><br>5 「自分 Webbing」の活動を行う。<br>【18分】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流活動(4人)</span><br>(1) 自分に関すること(好きなものや苦手なことなど)を書く。<br>(2) グループの友達のワークシートに、友達の「強み」を考えて書く。<br><br>(3) 友達を書いてくれた「強み」と「自分 Webbing」を参考に、自分の「強み」を考えて書く。<br>(4) 「聴き方のポイント」を知る。<br>(5) 自分と友達の「強み」を伝え合う。 | ○スライドを提示し、「強み」の定義と「強み」を理解するポイントについて説明する。<br>○授業者が自己開示したことを改めて確認することにより、その人が持つ「強み」に気付くことができるようにする。<br>○授業者の「自分Webbing」を例示し、ネガティブに思えることも「強み」として捉えることができることを視覚的に理解できるようにする。<br><br>○活動で使うワークシートを配付する。<br>○スライドを提示し、活動内容と方法を説明する。<br>○授業者の「自分Webbing」を例示し、ウェビングの書き方を説明する。<br>○他の教師が授業者の「自分Webbing」を参考にして考えた「強み」を例示し、友達の「強み」の考え方を説明する。<br>○友達に「強み」を書いてもらったワークシートに目を通す時間を設ける。<br><br>○他の教師が書いた「強み」と「自分Webbing」を参考にして考えた「強み」を例示し、自分の「強み」の考え方を説明する。<br>○「聴き方のポイント」を知らせ、安心できる雰囲気の中で「強み」を伝え合うことができるようにする。<br>○「強み」を伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにする。 |
| 6 本時の活動を振り返る。<br>【10分】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流活動(4人)</span><br>(1) 振り返りシートに記述する。<br>(2) グループで気付きを伝え合う。<br><br>7 次時の活動を知る。<br>【1分】  | ○振り返りシートを配付する。<br><br>○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、理解を深めることができるようにする。<br><br>○次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。  |